



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 AnyMind Group株式会社

上場取引所

東

コード番号 5027

URL <https://anymindgroup.com/ja/>

代表者(役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 十河 宏輔

問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO

(氏名) 大川 敬三

(TEL) 03(6384)5540

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		売上総利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	35,680	55.9	13,153	50.6	1,680	407.2	1,450	352.1	1,121	510.0	1,094	537.3
2023年12月期第3四半期	22,889	33.1	8,732	36.2	331	—	320	167.8	183	—	171	—

(参考) 四半期包括利益 2024年12月期第3四半期 1,185 百万円 2023年12月期第3四半期 915 百万円

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益		調整後EBITDA (注)	
	円	銭	円	銭	百万円	%
2024年12月期第3四半期	18	59	17	16	2,716	141.9
2023年12月期第3四半期	3	00	2	76	1,122	120.9

(注) 調整後EBITDA=営業利益又は営業損失+減価償却費及び償却費+株式報酬費用

## (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	%	%	円		
2024年12月期第3四半期	30,935		14,886		14,766	47.7		248.99		
2023年12月期	23,255		13,604		13,511	58.1		231.67		

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2024年12月期第3四半期	1,778		△464		2,297		9,785	
2023年12月期第3四半期	783		△1,114		374		6,536	

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	—	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年12月期(予想)				0.00		0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		売上総利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	49,109	46.8	18,299	44.1	2,400	221.1	2,100	234.0	1,580	182.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	59,306,900株	2023年12月期	58,323,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	58,884,411株	2023年12月期3Q	57,229,867株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 決算補足説明資料の入手方法

当社は、2024年11月14日 (木) 17:00より機関投資家向けに、2024年11月14日 (木) 19:30より個人投資家向けにオンライン決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については2024年11月14日 (木) にT D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載するほか、オンライン決算説明会の説明内容 (書き起こし) については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
1. 継続企業の前提に関する注記	13
2. 会計方針の変更	13
3. 会計上の見積りの変更	13
4. セグメント情報等	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「Make Every Business Borderless」というミッションのもと、ブランド構築、生産管理、メディア運営、ECサイト構築・運営、マーケティング、物流管理等のソリューションをワンストップで支援するプラットフォームを提供しており、アジア・中東を中心に世界15カ国・地域にて事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間では、アジア各国の国内需要の回復や外需の成長により経済は引き続き緩やかな成長を見せました。一方で、グローバルな環境の中でウクライナとロシアの紛争やパレスチナ問題は長期化し、エネルギー価格やサプライチェーンに影響を与え、資源価格の高騰が物価上昇の一因となり消費者や企業の購買力に悪影響が生じました。経済が成長を続ける一方でインフレ圧力が強まり、各国の中央銀行の金利政策の判断にも大きな影響を与えることになりました。特に7月末に日本銀行が政策金利を引き上げたことで、為替市場では円が買われ、特にドルやユーロだけでなく多くのアジア通貨に対して円高が進みました。

こうした変化の激しい国際経済において、当社グループは引き続き堅調な成長を維持しています。すべての事業において売上収益及び売上総利益は順調に推移しており、特にアジア地域での事業展開が全社の成長を牽引しています。

これらの業績に加えて、当社グループはそのプラットフォームとサービスの継続的な改善と拡大に努めております。これにはGoogle CloudのAIパートナーエコシステムへの参画も含まれており、新たなAIソリューションを当社グループのプラットフォームやサービスに活用できるようになりました。また、当社グループは「AnyLogi」機能を通じた輸出入サポートを導入し、企業向けに国境を越えたEコマース機能を拡大しています。さらに、「AnyManager」上でAIを活用したビデオ制作プロセスを提供し、出版社によるソーシャルメディア上でのコンテンツのコスト削減やリーチ・エンゲージメントの拡大を可能にしています。

また、当社グループは生成AI搭載のライブコマースプラットフォーム「AnyLive」の立ち上げにより、ライブコマース業界への参入を発表しました。このプラットフォームでは、企業のアイデンティティを反映したライブ配信者のAIアバターを生成AIで作成し、主要なEコマース及びソーシャルメディアプラットフォームとシームレスに統合することで、オフピーク時のエンゲージメントの最大化を実現しています。Eコマース事業の強化に関連して当社グループは2024年8月8日に日本及びグローバルのEコマース事業における新たな人事を発表し、持続的成長と戦略的集中のためのグローバル管理体制を強化しました。

当社グループはビジネスプラットフォームの機能と能力の向上に引き続き取り組んでいます。既存事業において安定した成長を維持することを目指すとともに、戦略的なM&Aを通じて新分野での急成長を達成することで当社グループの収益基盤が強化され長期的な成功が達成されると考えています。

以上のことから、マーケティングプラットフォームは2,977百万円（前第3四半期連結累計期間比+25.4%）、パートナーグロスプラットフォームは5,598百万円（前第3四半期連結累計期間比+66.6%）、D2Cプラットフォームは4,209百万円（前第3四半期連結累計期間比+158.7%）、売上収益が前年同期比で増加いたしました。また、当第3四半期連結累計期間における地域別売上収益比率（注）は東南アジアが50%（前年同期：37%）、日本及び韓国が36%（前年同期：47%）、インド・中華圏等のその他地域が14%（前年同期：16%）となっております。

（注）地域別売上高比率は、子会社の所在地における内部取引消去前の売上収益に基づいて算定しております。

## 第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比 (百万円)	前年同期比 (%)
マーケティングプラットフォーム	11,742	14,719	2,977	25.4%
パートナーグロースプラットフォーム	8,408	14,006	5,598	66.6%
D2Cプラットフォーム	2,652	6,862	4,209	158.7%
その他	85	92	6	7.8%
合計	22,889	35,680	12,791	55.9%

## 第3四半期連結会計期間

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比 (百万円)	前年同期比 (%)
マーケティングプラットフォーム	4,401	5,519	1,117	25.4%
パートナーグロースプラットフォーム	3,180	5,038	1,857	58.4%
D2Cプラットフォーム	991	2,556	1,564	157.8%
その他	14	35	21	151.6%
合計	8,587	13,149	4,561	53.1%

また、当社は創業以降、積極的な新規国への展開と新規事業への拡大を続ける中で、先行投資が続いておりましたが、現在は既存の進出国や事業の拡大を軸に成長を実現しております。今期は成長投資と生産性の向上を並行して進め、売上と売上総利益に対する人件費率が段階的に低下し収益性の改善を実現しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は35,680百万円（前第3四半期連結累計期間比+55.9%）、売上総利益は13,153百万円（前第3四半期連結累計期間比+50.6%）、営業利益は1,680百万円（前第3四半期連結累計期間比+407.2%）、税引前四半期利益は1,450百万円（前第3四半期連結累計期間比352.1%）、四半期利益は1,121百万円（前第3四半期連結累計期間比+510.0%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,094百万円（前第3四半期連結累計期間比+537.3%）となりました。

なお、当社グループは、インターネット関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて、7,679百万円増加し、30,935百万円となりました。これは主に、借入金の増加に伴い現金及び現金同等物が3,518百万円増加したこと、売上収益の強い成長に伴い営業債権が693百万円、契約資産が831百万円それぞれ増加したこと及び日本オフィスの契約更新及び増床に伴い使用権資産が1,561百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて、6,397百万円増加し、16,048百万円となりました。これは主に、借入金が増加したこと、増収により営業債務及びその他の債務が1,840百万円増加したこと及び日本オフィスの契約更新及び増床によりリース負債が1,525百万円増加したことによるものであります。

## (資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末に比べて、1,282百万円増加し、14,886百万円となりました。これは主に、在外営業活動体の換算差額の増加等によりその他の資本の構成要素が79百万円増加したこと及び親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が1,094百万円増加したことによるものです。

### (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物」の残高は、前連結会計年度末比3,518百万円増加し、9,785百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローは1,778百万円の収入となりました(前第3四半期連結累計期間比では995百万円の収入の増加)。これは、税引前四半期利益1,450百万円を計上したことに加え、減価償却費及び償却費の計上1,007百万円があった一方で、法人所得税の支払額317百万円等があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローは464百万円の支出となりました(前第3四半期連結累計期間比では650百万円の支出の減少)。これは主に、投資有価証券の売却による収入135百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出191百万円、子会社株式の取得による支出214百万円があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動によるキャッシュ・フローは2,297百万円の収入となりました(前第3四半期連結累計期間比では1,922百万円の収入の増加)。これは主に、リース負債の返済により689百万円の支払があったものの、長期借入れによる収入3,250百万円があったことによるものです。

### (4) 連結業績予想などの将来予測情報

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年8月14日の「2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔IFRS〕(連結)」から変更いたしました。詳細は、2024年11月14日付で公表しております「2024年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### (注意事項)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,266	9,785
営業債権及びその他の債権	7,499	8,192
契約資産	2,239	3,071
棚卸資産	857	1,644
その他の金融資産	156	52
その他の流動資産	870	1,100
流動資産合計	17,890	23,845
非流動資産		
有形固定資産	516	544
使用権資産	677	2,239
のれん	2,495	2,705
無形資産	784	693
その他の金融資産	720	759
繰延税金資産	109	112
その他の非流動資産	60	34
非流動資産合計	5,365	7,089
資産合計	23,255	30,935
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,137	8,978
契約負債	481	722
借入金	316	1,409
リース負債	368	892
未払法人所得税	184	207
その他の金融負債	104	82
その他の流動負債	243	165
流動負債合計	8,836	12,459
非流動負債		
借入金	-	1,845
リース負債	277	1,278
その他の金融負債	194	123
引当金	173	192
繰延税金負債	167	148
非流動負債合計	814	3,588
負債合計	9,651	16,048
資本		
資本金	586	648
資本剰余金	11,661	11,680
利益剰余金	648	1,742
その他の資本の構成要素	615	695
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,511	14,766
非支配持分	93	120
資本合計	13,604	14,886
負債及び資本合計	23,255	30,935

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	4	22,889	35,680
売上原価		14,156	22,527
売上総利益		8,732	13,153
販売費及び一般管理費		8,385	11,519
営業債権及びその他の債権の減損損失(純額)		54	△8
その他の収益		42	43
その他の費用		2	4
営業利益		331	1,680
金融収益		23	14
金融費用		34	244
税引前四半期利益		320	1,450
法人所得税費用		136	328
四半期利益		183	1,121
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		171	1,094
非支配持分		12	27
四半期利益		183	1,121
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		3.00	18.59
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		2.76	17.16



要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	183	1,121
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	0	5
項目合計	0	5
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	730	57
項目合計	730	57
その他の包括利益合計	731	63
四半期包括利益	915	1,185
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	903	1,158
非支配持分	12	27
四半期包括利益	915	1,185

要約四半期連結損益計算書  
第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	4	8,587	13,149
売上原価		5,301	8,357
売上総利益		3,286	4,792
販売費及び一般管理費		3,069	4,064
営業債権及びその他の債権の減損損失(純額)		3	22
その他の収益		9	6
その他の費用		0	4
営業利益		222	708
金融収益		7	4
金融費用		57	167
税引前四半期利益		171	545
法人所得税費用		80	146
四半期利益		91	398
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		84	378
非支配持分		7	19
四半期利益		91	398
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		1.45	6.39
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		1.34	5.90

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結会計期間

(単位:百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	91	398
その他の包括利益(税引後) 純損益にその後に振り替えられる可能性 のある項目		
在外営業活動体の換算差額	163	△758
項目合計	163	△758
その他の包括利益合計	163	△758
四半期包括利益	255	△360
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	247	△379
非支配持分	7	19
四半期包括利益	255	△360

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2023年1月1日残高	100	11,161	88	77	△24
四半期利益	-	-	171	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	730
四半期包括利益	-	-	171	-	730
新株の発行	435	435	-	-	-
新株予約権の行使	36	52	-	△16	-
新株発行費用	-	△10	-	-	-
株式報酬費用	-	-	-	8	-
その他	-	-	-	-	-
所有者との取引額等合計	471	476	-	△7	-
2023年9月30日残高	571	11,638	260	70	706

  

注記	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計		
	その他	合計					
2023年1月1日残高	22	75	11,425	89	11,515		
四半期利益	-	-	171	12	183		
その他の包括利益	0	731	731	-	731		
四半期包括利益	0	731	903	12	915		
新株の発行	-	-	870	-	870		
新株予約権の行使	-	△16	72	-	72		
新株発行費用	-	-	△10	-	△10		
株式報酬費用	9	18	18	-	18		
その他	-	-	-	△0	△0		
所有者との取引額等合計	9	1	949	△0	949		
2023年9月30日残高	31	808	13,279	101	13,381		

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					在外営業活動 体の換算差額
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	新株予約権	その他の資本の構成要素	
2024年1月1日残高	586	11,661	648	65		495
四半期利益	-	-	1,094	-		-
その他の包括利益	-	-	-	-		57
四半期包括利益	-	-	1,094	-		57
新株の発行	-	-	-	-		-
新株予約権の行使	61	19	-	△12		-
新株発行費用	-	-	-	-		-
株式報酬費用	-	-	-	28		-
その他	-	-	-	-		-
所有者との取引額等合計	61	19	-	16		-
2024年9月30日残高	648	11,680	1,742	81		553

注記	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計				
	その他	合計					
2024年1月1日残高	54	615	13,511	93		13,604	
四半期利益	-	-	1,094	27		1,121	
その他の包括利益	5	63	63	-		63	
四半期包括利益	5	63	1,158	27		1,185	
新株の発行	-	-	-	-		-	
新株予約権の行使	-	△12	68	-		68	
新株発行費用	-	-	-	-		-	
株式報酬費用	-	28	28	-		28	
その他	-	-	-	0		0	
所有者との取引額等合計	-	16	96	0		97	
2024年9月30日残高	60	695	14,766	120		14,886	

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 注記 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	320	1,450
減価償却費及び償却費	773	1,007
固定資産売却損益 (△は益)	2	4
金融収益	△32	△14
金融費用	34	201
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△142	△563
契約資産の増減額 (△は増加)	△283	△791
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	630	1,691
契約負債の増減額 (△は減少)	6	231
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△360	△775
その他の増減額	△199	△292
小計	748	2,149
利息及び配当金の受領額	9	11
利息の支払額	△37	△65
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	62	△317
営業活動によるキャッシュ・フロー	783	1,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	5
有形固定資産の取得による支出	△390	△191
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形資産の取得による支出	-	△28
資産除去債務の履行による支出	-	△2
貸付けによる支出	△14	-
貸付金の回収による収入	12	-
投資有価証券の売却による収入	-	135
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△69
敷金及び保証金の回収による収入	9	11
子会社株式の条件付取得対価の支払額	-	△113
支配獲得を伴う子会社株式の取得による収支	△706	△214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,114	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	289	121
長期借入れによる収入	-	3,250
長期借入金の返済による支出	△300	△454
リース負債の返済による支出	△546	△689
株式の発行による収入	859	-
新株予約権の行使による収入	72	68
財務活動によるキャッシュ・フロー	374	2,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	352	△93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	394	3,518
現金及び現金同等物の期首残高	6,141	6,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,536	9,785

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 4. セグメント情報等

当社グループは、インターネット関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

顧客との契約から認識した収益の分解は、以下のとおりです。

なお、当社グループの収益は、一時点又は一定の期間にわたる財及びサービスの移転から生じる収益により構成されます。一時点で認識される売上収益は、主としてD2Cプラットフォームにおける商品販売によるものです。

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
マーケティングプラットフォーム	11,742	14,719
パートナーグロスプラットフォーム	8,408	14,006
D2Cプラットフォーム	2,652	6,862
その他	85	92
合計	22,889	35,680

## 第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
マーケティングプラットフォーム	4,401	5,519
パートナーグロスプラットフォーム	3,180	5,038
D2Cプラットフォーム	991	2,556
その他	14	35
合計	8,587	13,149

(注) 当社グループは、法人顧客及び個人顧客に対して、ブランド構築、生産管理、メディア運営、EC構築・運営、マーケティング、物流管理等をワンストップで支援するプラットフォームを有機的に組み合わせて提供する、「インターネット関連事業」を行っており、同事業を単一の報告セグメントとしております。当社グループの単一の報告セグメントである「インターネット関連事業」において、主としてマーケティングプラットフォーム、パートナーグロスプラットフォーム及びD2Cプラットフォームの提供を行っており、各プラットフォームの内容は、以下に記載のとおりであります。

## (a) マーケティングプラットフォーム

当社グループのマーケティングプラットフォームでは、インフルエンサーマーケティングの推進・管理を行うプラットフォームである「AnyTag」、デジタルマーケティング支援プラットフォームである「AnyDigital」を中心に顧客である広告主に対してサービス提供を行っております。

## (b) パートナーグロスプラットフォーム

パートナーグロスは、パブリッシャー・グロスとクリエイター・グロスで構成されております。具体的にはパブリッシャー向けにはパブリッシャーグロスプラットフォーム「AnyManager」、クリエイター向けにはクリエイターグロスプラットフォーム「AnyCreator」を提供しております。

## (c) D2C/ECプラットフォーム

当社グループは、EC及びD2C領域を中心にブランドの設計・企画から、製造支援、ECサイトの構築・運用、マーケティング、在庫管理物流支援に至るまでバリューチェーンの各段階でサービスを提供しております。「AnyX (ECマネジメントプラットフォーム)」、「AnyLogi (物流在庫管理支援)」、「AnyChat (会話型コマースプラットフォーム)」及び「AnyAI (AI活用のためのデータ分析基盤 & ビジネスプロセス構築プラットフォーム)」等のサービスを提供しており、これらを総称してD2C/ECプラットフォームとしております。

## (d) その他

主に、日本の優れた“おもてなし心”あふれる商品・サービスを発掘・表彰する子会社のEngawa株式会社が主催する「おもてなしセレクション」であります。